

キーワード：

基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用、望ましい学習態度の育成

学力向上に向けた取組

函館市立中の沢小学校

1 課題

- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着

2 課題解決の具体策

- 言葉の力を付け、自分の思いや考えを表現する力を育成する校内研修の充実
- 発達段階に応じたノート指導の在り方の模索
- 読書活動の充実 個別指導の在り方

3 取組の概要

①言葉の力を身に付けさせる取組

校内研修の中で、「話し方・聞き方の約束」、「基本的な学習の約束」について吟味し、各学年の実態に応じたものを作成した。また、これを基にして、「学び合いカード」を作成し、算数を中心に日常の授業の中で反復して、児童が身に付け、活用し、考えや思い表現できるようにしている。

②発達段階に応じたノート指導について

児童が思考を整理し、筋道を立てて考え、表現するためには、ノート指導と関連付け取り組む必然性が確認され、各学年の発達段階に応じて取り組まれている。授業の中で繰り返し指導し、表現力の向上につなげていきたい。

③読書活動の充実

基礎・基本の習得にあたって、国語力の向上は欠かすことができないと考え、朝読書を教育課程の中に位置付け、取り組んでいる。今年度は、朝読書の習慣の定着と保護者による読み聞かせ活動の充実に努めている。保護者の読み聞かせについては、積極的な協力が得られ、取組の輪が広がり、全学年で行われている。

④学習サポーター

児童の基礎学力定着を目指し、TTとして、高学年に配置している。今年度は週2日、算数の授業を基本に、担任とともに必要とする児童の指導にあたっている。



4 成果と課題

- 「学習の約束」や「学び合いカード」とともに、ノート指導においても発達段階に応じ取組を進めたことにより、職員間に共通理解が生まれ意識化が図られた。
- 校内研修での取組が、日常の授業全体への広がり、実践が行われるようになってきている。
- 保護者や図書館ボランティアによる取組の結果、児童の読書への関心の高まりがみられる。
- 「言葉の力を付けるノート指導」について、これがどのような学力向上につながっているのか、継続しながら検証し改善していく必要がある。
- 家庭学習の取組方法について検討中であり、上記のノート指導を一つの窓口にしなが、その在り方を確定していきたい。